

添付資料 7-3 通史展示 展示項目（案）

通史展示 展示項目(案)

大項目	展示趣旨	中項目	小項目	備考		
福岡のあけぼの	約3万5千年前から福岡に人が住み始め、その後のように暮らしていたのかを、地理的環境や自然環境の変化も含めて紹介する。	福岡に人びとがやってきた	旧石器時代のくらしと道具	現行の展示の旧石器時代展示よりも縮小する。石器の用途がわかるよう模型やイラストを組み合わせて展示する		
		福岡の縄文人	定住と村のくらし 縄文のこころ	当時の人々のくらしの様子がわかるように模型やイラストと組み合わせ展示をする 祭祀具や装身具などを中心に展示する。土偶などの遺物は目近で観覧できるよう工夫する		
金印の時代	農業の始まりをきっかけとして、人びとのくらしが変わったことを紹介する。また、地の利を活かした対外交流を通じて、繁栄した奴国の様子を示すことで、金印が奴国にもたらされたことを理解してもらう。	奴国のくらし	縄文から弥生へ	縄文・弥生土器などを展示し、弥生時代がなぜ・どのように始まったか、縄文時代からの移り変わりの過程を紹介する		
			農業の始まりと四季のくらし	朝鮮半島との交流の視点をとりいれながら、農業をはじめ、狩猟と漁業といった生業を中心に紹介する		
		農耕社会のうつりかわり	豊穡への祈り	農業祭祀に関する資料を中心に紹介する 弔いにとまなう精神文化は大項目【スポット展示】「甕棺と古墳」で紹介する		
			弥生のもものづくり	石器・金属器・ガラスなどの工業生産に関わる資料を展示する		
【スポット展示】 甕棺と古墳	展示で人気のある甕棺や埴輪などを中心に展示する。弥生時代と古墳時代の弔いの文化にも触れてもらう。	—	甕棺の秘密	未館者が甕棺に触れ、写真を撮影できるコーナーを設ける		
		—	ふくおかの古墳	鶴崎古墳石室模型は撤去し、埴輪や装身具、装飾大刀など人気のある資料を中心に展示する		
那津の時代	朝鮮半島での戦争の激化をきっかけに、福岡からも多くの兵士が派遣され、その見返りとして様々な技術を獲得したことを紹介する。大宰府が九州の拠点になる前に、軍事・外交拠点であった博多湾岸を紹介する。	戦争と革新の5世紀	海をわたる武人 技術革新と渡来人	老司古墳などをとりあげ、古墳時代中期から後期の首長の武人的性格とその背景を紹介する 西日本一帯を視野に入れて、朝鮮半島への派兵の見返りに渡来人を通じて得た様々な技術を紹介する		
		大宰府の前身 那津	那津のほとりの官家 庚寅銘大刀の世界	日本書紀なども活用し、磐井の乱をきっかけとする倭政権による筑紫支配の強化過程を解説する 元岡古墳群の出土品を中心に、庚寅銘大刀での文字や暦の使用など、古代国家の萌芽的要素がみられることを紹介する		
鴻臚館の時代	律令国家体制が整うと、九州の内政と外交の拠点として大宰府が置かれ、博多湾岸は大宰府の外港として、さらに国家直営の筑紫館・鴻臚館は日本と大陸と行き交う中継地点となったことをとりあげる。また、大宰府との関係を視野にいれながら、水城の外にあった福岡市域には、官道にそって役所や官営生産施設などがあったことも紹介する。	筑紫館と鴻臚館	筑紫館			
			鴻臚館	鴻臚館式瓦・遣唐使船・『万葉集』・木簡・新羅土器などを展示する		
		博多湾と大宰府政庁	海商と入唐僧	鴻臚館跡出土資料(青磁碗・ガラス・砂金・硯など)を展示する		
			役所と道	博多、元岡・桑原、高畑、柏原、海の中道などの遺跡(点)と官道(線)で大宰府との関わりを紹介する		
博多綱首の時代	平安時代後期(11c半ば)から鎌倉時代(1333年)までを対象とする。 11世紀の半ば、鴻臚館での貿易が終焉を迎えると、対外交流の舞台は博多に移った。古代の博多に終わりを告げ、新たに中世博多の歴史が始まる。貿易の担い手は、博多に居住する中国人の貿易商「博多綱首」であった。博多にはチャイナタウン「唐房」があり、活発な交流が行われた。	博多津唐房と博多綱首	鴻臚館から博多へ	冷泉小学校跡の中世初期の港の護岸について、展示手法を工夫して紹介する		
			博多津唐房	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する		
		蒙古襲来と博多	博多綱首	博多綱首	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			箱崎津と宮崎宮	箱崎津と宮崎宮	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
		博多は大陸文化移入の窓口	今津と栄西	今津と栄西	博多湾沿岸のランドマークとしての背景山について、紹介する	
			中世博多の都市形成	中世博多の都市形成	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			文永の役と博多	文永の役と博多	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			元寇防壁の築造	元寇防壁の築造	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			弘安の役と博多	弘安の役と博多	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			元との交流	元との交流	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
博多豪商の時代	鎌倉時代後期から織豊期を対象とする。 蒙古襲来を経て、博多における貿易の担い手は、日本人が主体となる。前代と引き続き、博多は対外交流の拠点として栄えた。博多の豪商の活躍の跡を紹介する。	南北朝の動乱と博多	諸勢力と博多			
			勘合貿易と博多商人	土層剥ぎ取りと映像・触地図等は一部撤去を検討する、一部を小項目「太閤町割り」に移動する		
		東シナ海を越える博多商人	中世都市博多のものづくり	銅・鉄製品やガラス製品などの生産にかかわる資料を中心に、曲げ物などもとりあげる		
			朝鮮との貿易	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する		
		戦国時代の博多と東アジア世界	博多商人と琉球	博多商人と琉球	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			東南アジアと博多	東南アジア関係資料を充実させ、焔硝を展示する		
			「大航海時代」の博多	「大航海時代」の博多	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			博多商人の他地域開発	博多商人の他地域開発		
		豊臣秀吉と博多	戦国の争乱と博多	戦国の争乱と博多	※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する	
			伴天連追放令と九州国分	伴天連追放令と九州国分	現行の常設展示のパネルを充実させる	
「太閤町割り」	「太閤町割り」		※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する			
小早川氏と名島城	小早川氏と名島城		※現行の展示でとりあげているテーマを紹介する			
福岡藩の時代	黒田家の筑前入国から明治初年までを取り扱う。 福岡藩領の首府としての福岡城築城とそれに伴う新しい城下町の建設と発展の歴史を追う。領内統治にかかる諸制度の整備を控え、その制度下でくらす人々の生活や文芸活動を、城下町の生活を支える物や人の流れとともに紹介する。また、城下町で展開する武士を中心とした藩の学問の興隆と学問所の設置、町人を含めた文芸の受容と拡がりや、福岡藩が担った長崎警備を契機とする学問の受容や技術の導入にも触れ、幕末期に直面する諸外国の脅威や政治的な情勢に対する福岡藩の対応を取り上げる。	黒田家が治める福岡	黒田家の筑前入国	関ヶ原合戦における黒田如水・長政父子の活躍、黒田家の筑前国拜領。筑前入国時の居城名島城などをとりあげる		
			福岡の誕生	福岡城の築城、新しい城下町・福岡、貿易統制と福岡・博多の商人、長崎警備などをとりあげる		
		都市の発展	黒田家を支えた家臣たち	戦いで功績のあった家臣、築城や城下町の整備で活躍した黒田二十四騎などの家臣などをとりあげる		
			都市の発展	家の格と番方・役方、福岡城内や江戸での勤めなどについてとりあげる 長崎や上方、薩島での家臣の勤めや、家業の勤めと修行などについてとりあげる		
		福岡藩の学問	都市の発展	都市域の拡大・整備。武士・町人の屋敷、寺社統制と黒田家の寺社保護政策についてとりあげる		
			福岡藩の学問	武士を支えた、具足、弓、高取焼などにかかわる商人・職人たちについてとりあげる 貝原益軒の業績(黒田家譜、筑前国統風土記の編纂、養生訓、大和本草などの著作)、宮崎安貞・竹田家などの貝原益軒周辺の人物、東西学問所の開設などについてとりあげる		
		在町・村・浦の生活	たしなみと教育	剣術や馬術などの武芸の修練や家庭内教育と女性の役割、和歌・俳句・連歌・茶道などの文芸・文化についてとりあげる		
			藩制の展開	検地をはじめとした領内支配制度の整備、村・浦・町の制度・組織などについてとりあげる		
		幕末の福岡	交流と物流	陸路・海路を含む交通網の整備、五ヶ浦廻船などについてとりあげる 在町・村・浦の人々のなりわいとくらしや、奉公人等の実態についてとりあげる		
			病と災害	享保の大飢饉、子年の大風、土砂災害などの災害、病気に加え、自然環境とどう向き合ってきたかを発信する		
近代都市・福岡の時代	明治時代から戦後までを対象とする。 福岡県・福岡市の成立から、福岡市が九州で人口1位になるまでを扱う。現行の常設展示が共進会・博覧会による市街地開発に重点を置いて展開したのに対し、新たな常設展示では交通網の発達とインフラの整備、町村合併を軸に福岡市の発展(面積・人口増加)を紹介する。	「福岡市」の誕生と発展	外国船の来航	フェーン号事件と長崎警備の強化、度重なる外国船の長崎来航と福岡藩などについてとりあげる 東洋学問の輸入と西洋学問の先駆け(永井青崖、青木興勝ら)、西洋医学を学ぶ人びとについてとりあげる 慶應大黒田斉清・黒田長清、藩による西洋学問・技術の導入などについてとりあげる		
			幕末の政局と藩政	開国がおよぼした影響、朝廷と幕府と福岡藩、長州征討と福岡藩、藩内の対立から明治への政局についてとりあげる		
現代の福岡	昭和30年代～令和時代を対象とする。 現行の常設展示では高度経済成長期におけるライフスタイルの変化と交通網の発展を紹介しているが、リニューアル後は天神市街地の形成からウォーターフロントの開発、「天神ビックバン」まで変わり続ける福岡市の成長を紹介する。	街とくらしの変化	文明開化のくらし	時間・暦・学校ほか、明治前半のくらしの変化を紹介する		
			「福岡市」の誕生	福岡市博多市論争なども紹介する		
		都市開発のあゆみ	近代都市化する「天神」	赤煉瓦文化館、県公会堂貴賓館が建設された時代の天神地区を紹介する		
			都市インフラの整備	路面電車、電気、水道、ガスの普及を紹介する		
		【スポット展示】 近現代のくらし	世代間のコミュニケーションを期待できそうな、明治時代から戦後にかけての街並みやくらしにかかわる資料を展示する。	このころ、みんなは	花開くモダン都市	アロー号、デパート、大濠公園、動植物園、カフェ、都市部の写真など紹介する
					観光の福岡	鉄道網、飛行場、市内・郊外の観光地を紹介する
戦争の時代と福岡大空襲	戦時資料を展示する	博多港引き揚げと戦後復興	戦時資料を展示する			
			博多港引き揚げと戦後復興	博多港と、板付・西戸崎に存在した米軍施設を紹介する		
戦後のライフスタイル	昭和30年代～40年代にかけての集合住宅や家電など昭和戦後のくらしを紹介する	のぞいてみよう!あの頃の福岡	成長する街	高度成長期以降の天神の発展を紹介する		
			アジアでGo!	東京や湯布院より釜山の方が安く早く!気軽にアジアに飛び立てる福岡の便利さを紹介する		
一日(一生)の過ごし方	明治時代末期から大正時代にかけての、電気、水道が普及する前後の時代の福岡の人々のくらし方を紹介する 遠足などの市内観光に関する資料も展示する	戦後のライフスタイル	政令指定と都市機能の深化	昭和40年代後半から50年代にかけての、区の成立、福岡空港、新幹線開通、地下鉄を紹介する		
			臨海部開発と都心再開発	百道浜・照葉などの臨海部と天神再開発をはじめとする平成の市街地再開発を紹介する		
【スポット展示】 近現代のくらし	世代間のコミュニケーションを期待できそうな、明治時代から戦後にかけての街並みやくらしにかかわる資料を展示する。	このころ、みんなは	令和の都市開発	「天神ビックバン」「博多旧市街」的なものを紹介する		
			一日(一生)の過ごし方	明治時代末期から大正時代にかけての、電気、水道が普及する前後の時代の福岡の人々のくらし方を紹介する 遠足などの市内観光に関する資料も展示する		
戦後のライフスタイル	昭和30年代～40年代にかけての集合住宅や家電など昭和戦後のくらしを紹介する	のぞいてみよう!あの頃の福岡	戦後のライフスタイル	昭和30年代～40年代にかけての集合住宅や家電など昭和戦後のくらしを紹介する		